

出品作家 潮田登久子 Ushioda Tokuko、大西みつぐ Ohnishi Mitsugu、鬼海弘雄 Kikai Hiroh、須田一政 Suda Issai、
 瀬戸正人 Seto Masato、田村彰英 Tamura Akihide、長野重一 Nagano Shigeichi、奈良原一高 Narahara Ikkō、
 宮本隆司 Miyamoto Ryuji、林隆喜 Hayashi Takanobu、森山大道 Moriyanma Daido、山崎博 Yamazaki Hiroshi



林 隆喜「晴れの風景—しあわせの構図より」1992 ©Hayashi Takanobu

総合開館記念展 TOKYO/CITY OF PHOTOS
写真都市 TOKYO

1995.1.21(土) ↓ 3.31(金)
 開館時間 午前10時～午後6時 ●金曜日は午後9時まで(入館は閉館の30分前)
 休館日 毎週月曜日 観覧料 一般・大学生600円・小・中高生300円
 内は、20名以上の団体料金 会場 2階企画展示室 主催 東京都写真美術館

東京都写真美術館

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 TEL.03-3280-0031



瀬戸正人 Living Room, Tokyoより 1992 ©Seto Masato



大西みつぐ NEW COASTより 1989 ©Ohnishi Mitsugu



宮本隆司 恵比寿1990-1991より ©Miyamoto Ryuji



鬼海弘雄 王たちの肖像より 1987 ©Kikai Hiroh



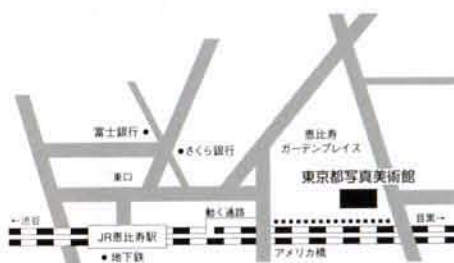
須田一政 犬の鼻より 1987-1988 ©Suda Issai



長野重一 遠い視線より 1992 ©Nagano Shigeichi



潮田登久子 冷蔵庫より 1989 ©Ushioda Tokuko



交通機関—JR恵比寿駅東口より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)。お車でのご来館はご遠慮ください。

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

〒153 東京都目黒区三田1-13-3 TEL.03-3280-0031
 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153

総合開館記念展 TOKYO/CITY OF PHOTOS
写真都市 TOKYO

本展覧会は、東京を主題に独自の視点で写真表現を展開している日本人現代作家に焦点を当てています。1980年代以降の東京は、慌ただしい変容を続けてきました。都市部の各所では大規模な再開発が繰り返され、昔の面影を残す街並みに代わり、近未来を思わせる高層建築群がいたるところに出現し、解体と構築が際限なく繰り返されるようすを私たちは目の当たりにしてきました。また、都市部の表層の変容のみならず、情報や経済の集中化は私たちの生活や意識にもさまざまな変革をもたらす結果となり、近年では東京や都市を文化的な現象として研究する書籍も数多く著されてきました。現在、東京の現実に対し、多くの分野で敏感に目が向けられ、芸術家たちにとっても「東京」は自らの作品を構成する魅力的なテーマのひとつとして考えられています。この「写真都市TOKYO」は、80年代以降から現在まで、写真家たちがどのようなアプローチと方法で、変貌と拡大を続ける都市・東京をとらえたかを探るとともに、東京の未来像を浮かび上がらせ、「写された東京」を主題に写真表現の可能性を考察するものです。(12作家約200点で構成)

フロアレクチャーのお知らせ(各回午後2時から)

第1回 1月29日(日) 第2回 2月12日(日) 第3回 2月26日(日) 第4回 3月19日(日)



山崎博 CRITICAL LANDSCAPE 1981-1991 ©Yamazaki Hiroshi